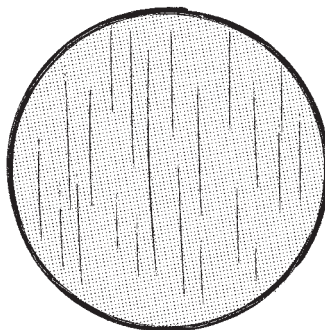
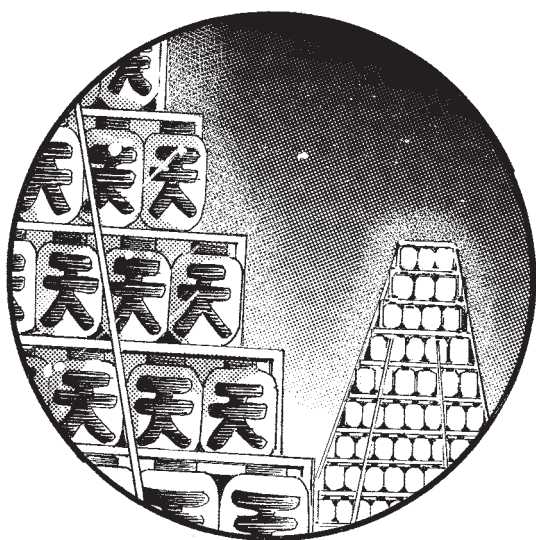


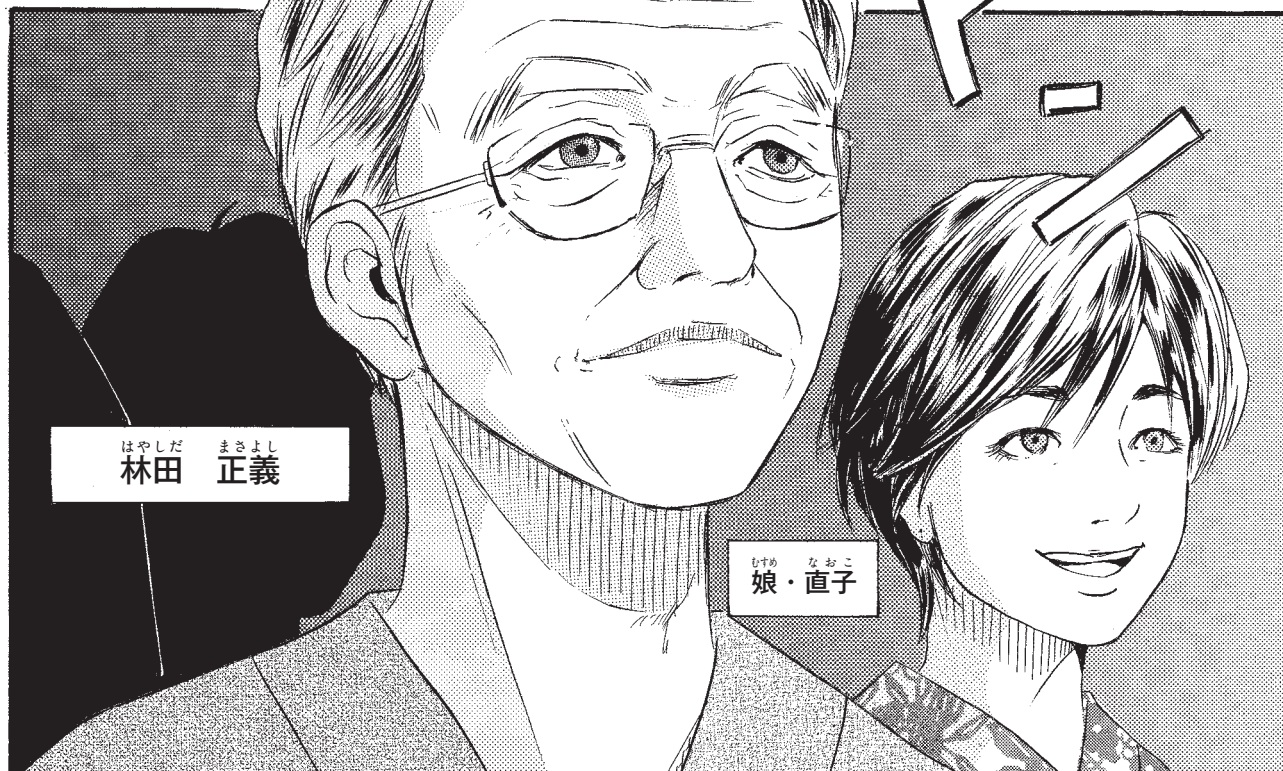
# わっしょい<sup>ひゃく</sup>百万<sup>まん</sup>夏<sup>なつ</sup>まつり の<sup>ぜん</sup>前身<sup>しん</sup>



ノノモリ



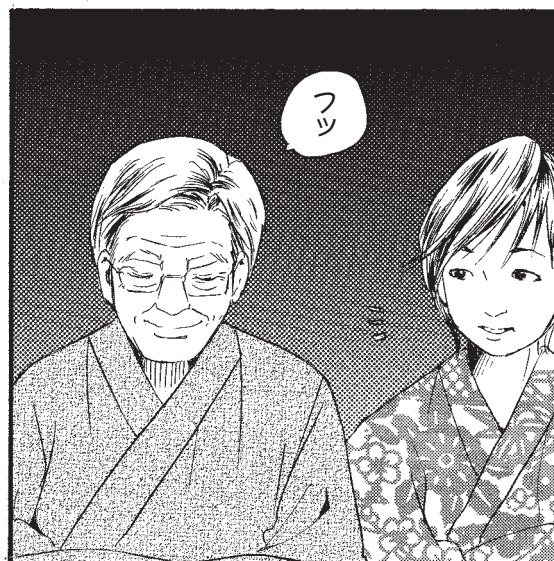


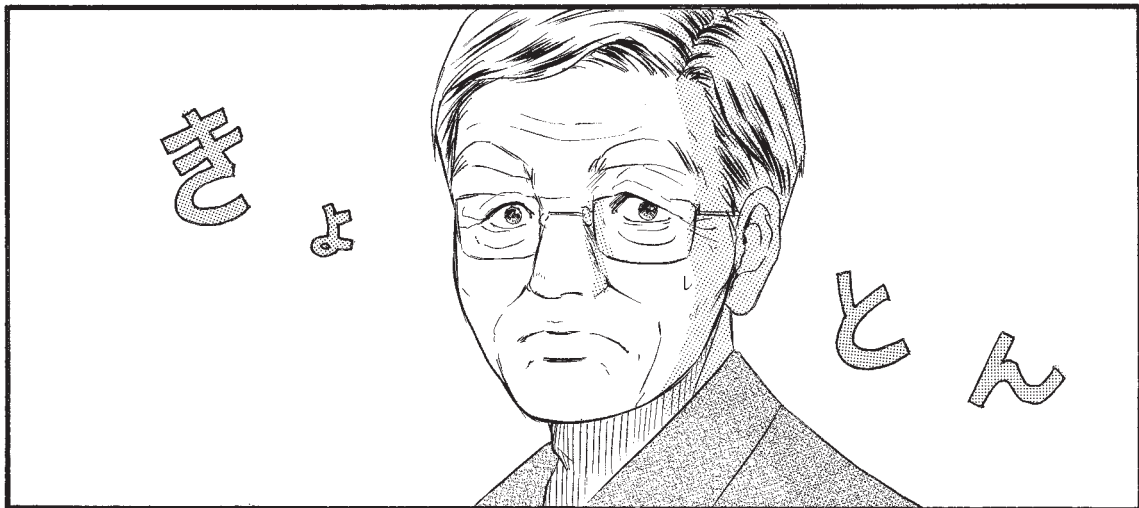


はやしだ まさよし  
林田 正義

むすめ なおこ  
娘・直子

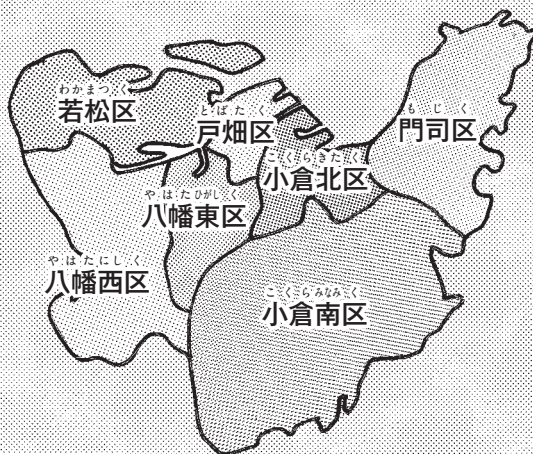








1963年（昭和38年）



門司・小倉・若松・八幡・戸畑の五市が合併し「北九州市」が誕生した

しかし合併して10年  
旧五市の意識が強く  
北九州市が一つになる  
事はなく

大都会に憧れ  
街を出た若者は  
故郷に戻って来なかった

このままでは  
いけない!!

北九州を一つに!

旧五市  
力を合わせて  
街を盛り上げましょう!!

北九州青年会議所会員

小倉の人が黒崎祇園を  
見た事が無ければ  
黒崎の人が小倉祇園を  
見た事はない

北九州の祭りを同時に  
見る事が出来れば  
旧五市の壁を取り除ける!

未来を担う  
北九州の子供達に  
花火を見せて  
あげましょう!!

こうして  
「まつり北九州」は  
開催する事となった

はあ

だが……

資金が足りない……  
一体どうしたものか

当時理事長を  
務めていた私は

様々な問題に  
頭を悩ませていた……

八幡製鐵所の  
五十万円を筆頭に

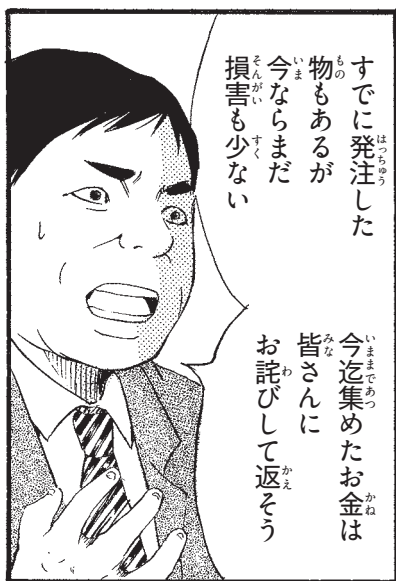
一口五千円の寄付を  
会員に割り振ったものの……

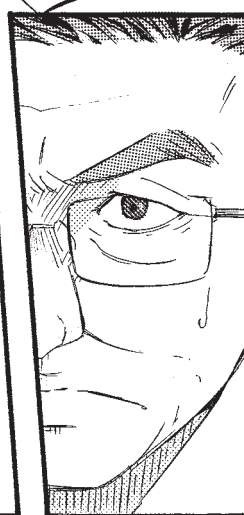
協賛金はなかなか  
集まらなかった……

企業や団体に求める協賛金と

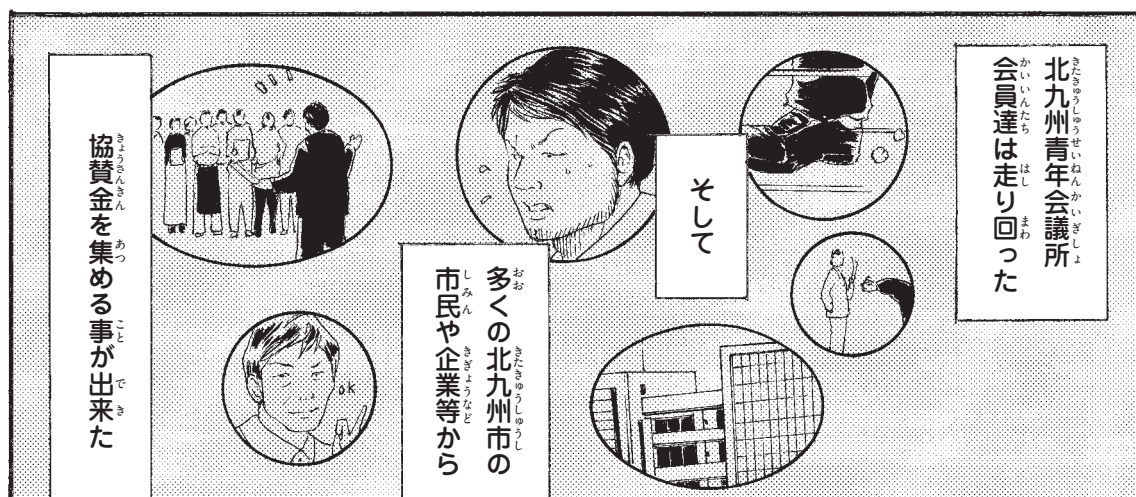
今のうちに  
止めよう

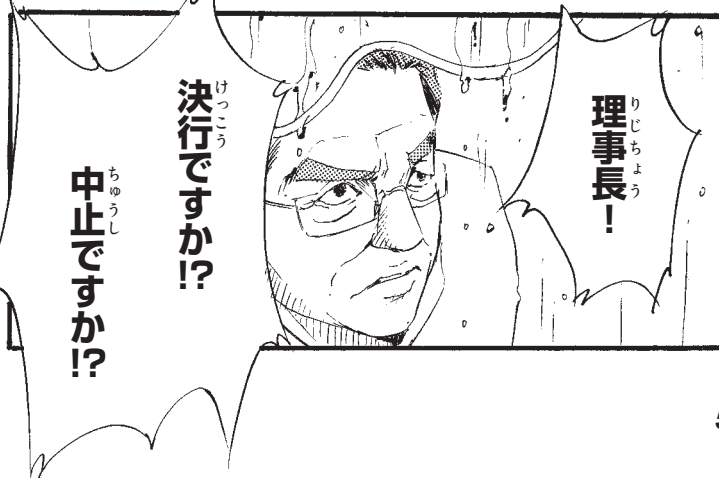




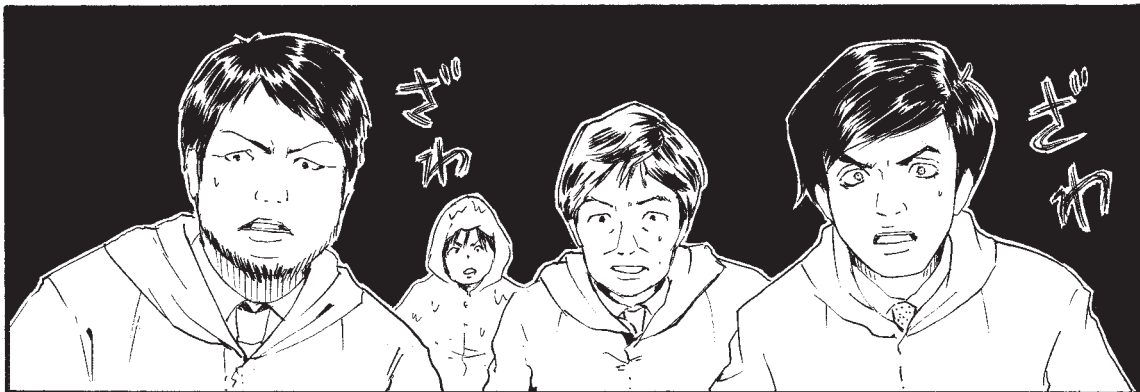












そうして

雨の中  
「まつり北九州」は  
開催された

さあ皆さん！  
「まつり北九州」の  
幕あけです

自衛隊のブラス  
バンドを筆頭に

足原小学校の  
トランペット鼓隊

小学校の  
マーチングバンド



こくらぎおんだいこ  
小倉祇園太鼓



くろさきおんやまかさ  
黒崎祇園山笠



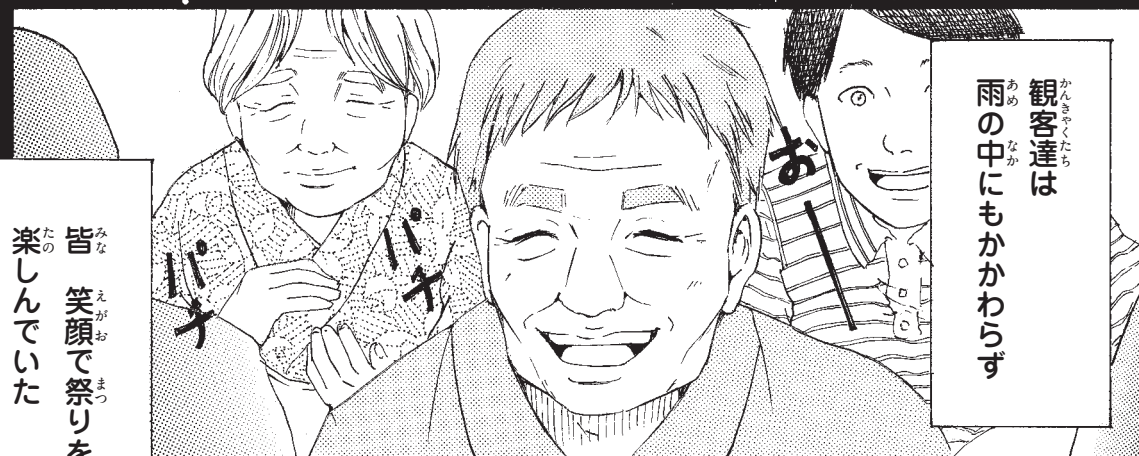
よこしろかぐら  
横代神楽



くすばるせり  
楠原踊



かみきんぐら  
観客達は  
あめなか  
雨の中にもかかわらず



みな  
皆  
えがお  
笑顔で祭りを  
たの  
楽しんでた



花火が上がる頃には  
雨も弱くなり  
子供達は歓喜の  
声を上げた

わあ



おどろぐ・小道具の  
準備に警備のスタッフ

関係役所との折衝

資金集めから  
始まり出演の交渉



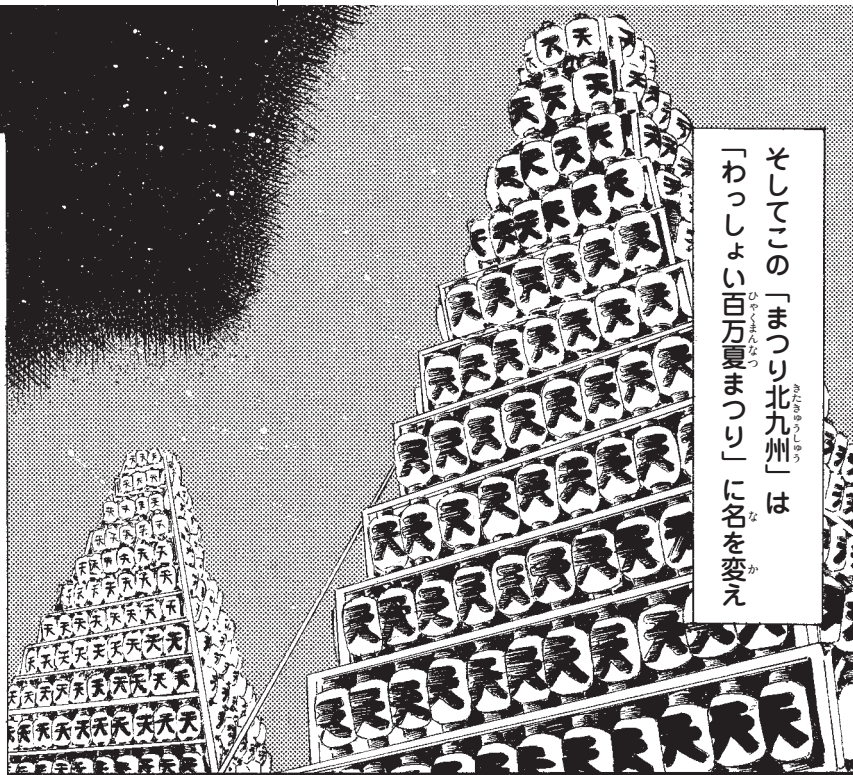
何とも言えない  
満足感とかすかな  
自信の火が灯った

クタクタになるまで走り回った  
196人の北九州青年会議所  
会員達の胸に

この5カ月間



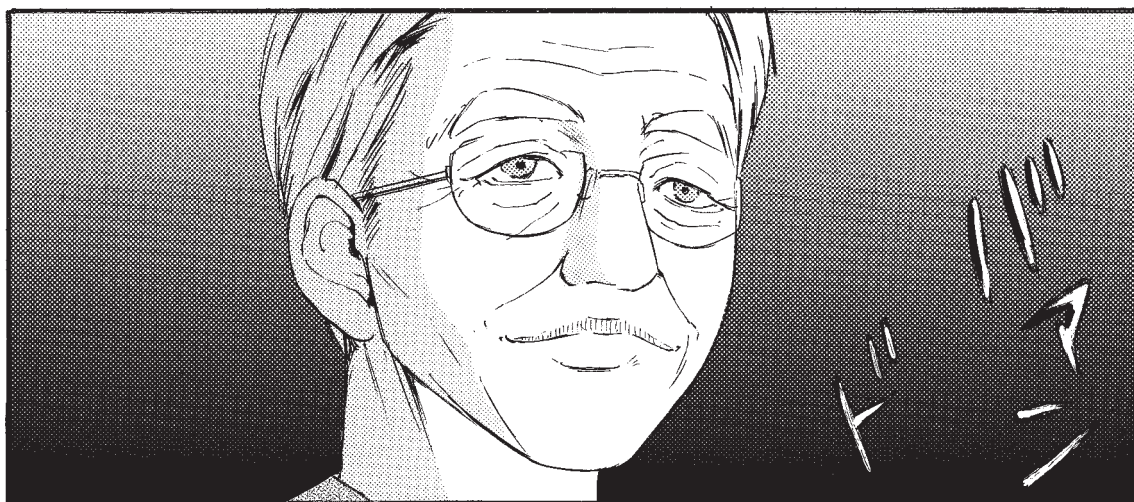
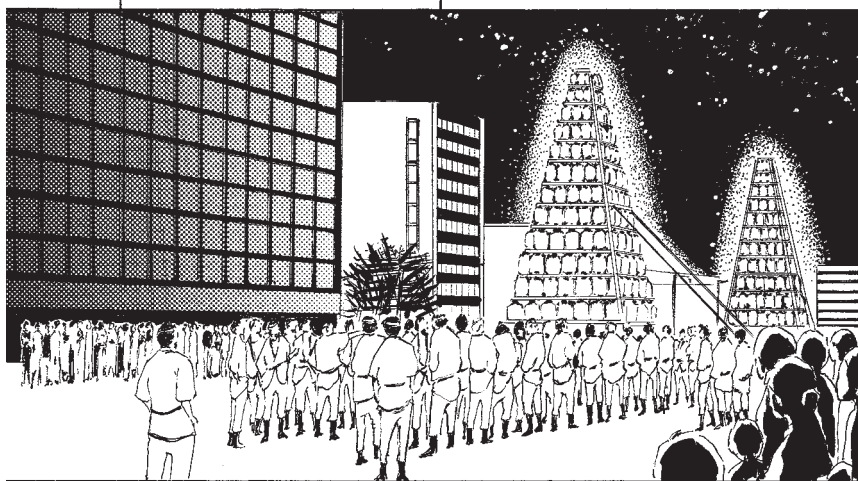
そしてこの「まつり北九州」は  
「わっしょい百万夏まつり」に名を変え



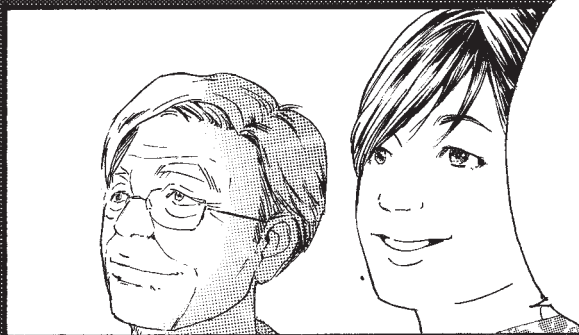
今では北九州市・北九州商工会議所  
北九州青年会議所・北九州市観光協会や  
各区自治会・婦人会・企業・市民団体など  
約180団体で組織された  
「わっしょい百万夏まつり振興会」において  
企画運営がされています

また祭りの期間中は  
150万人を超える市内外の  
観衆と約300団体

2万人余りの参加者が集う  
北九州市を代表する  
夏の風物詩となっています







この北九州市がもっと  
素敵に盛り上がって  
行って欲しいわね

ああ  
そうだな

